

将来の船員確保・育成のために 就業体験、体験学習を実施

Point

沖縄海事産業人材確保・育成推進協議会(事務局:沖縄総合事務局運輸部)は、
若年内航船員の人材確保・育成のため、就職選択段階の高校生、
進路選択段階の中学生、各段階に応じたバリエーションのある取組を行っております。

【運輸部】

NO.13

四面を海に囲まれた我が国において、船舶による海上輸送は、国民生活及び経済活動並びに観光振興などに欠かせないものとなつてゐる中、今後の安定的な海上輸送を確保するにあたつては、海上輸送を担う人的基盤たる船員の安定した確保が必要不可欠です。

特に船員供給源が国内に限定されている内航海運においては、年齢構成を見ると50歳以上の割合が5割と高い状況になつております。後には船員不足が生じると予測され、海上輸送を維持・発展させていくために、若年の内航船員の確保が喫緊の課題になつています。

沖縄県においても全国と同様な傾向があるため、沖縄海事産業人材確保・育成推進協議会では、内航船員の仕事に興味を持つかけを作り、将来、内航船員の職業を選択してもらつたみをおこなっています。

☎ 098-1866-1838
運輸部船舶船員課

特に船員供給源が国内に限定されている内航海運においては、年齢構成を見ると50歳以上の割合が5割と高い状況になつております。後には船員不足が生じると予測され、海上輸送を維持・発展させていくために、若年の内航船員の確保が喫緊の課題になつています。

沖縄県においても全国と同様な傾向があるため、沖縄海事産業人材確保・育成推進協議会では、内航船員の仕事に興味を持つかけを作り、将来、内航船員の職業を選択してもらつたみをおこなっています。

今後とも、若年内航船員の人材確保・育成に関する取組みを積極的に推進していくきます。

対しては夏休み期間の7月24日～8月25日に沖縄水産高校及び宮古総合実業高校、八重山商工高校及び八重山農林高校の生徒を对象に県内の内航船(貨物船、旅客フェリーなど)で「就業体験(インターナンシップ)」を実施しました。

就職選択段階の高校生に對しては同じく夏休み期間の8月16日に沖縄水産高校及び実習船「海邦丸五世」において、県内の中学生、保護者及び教師などを対象に船員の仕事についての説明、実習船「海邦丸五世」の見学、将来の沖縄を担う船員になるために県内の水産高校でどのような資格を取得することができるのかなどの「体験学習」を実施しました。



▲就業体験(旅客船乗降口)



▲就業体験(曳船船橋)



▲就業体験(貨客船船橋)



▲体験学習(機関室見学)



▲体験学習(船内見学)



▲体験学習(学校案内)